

【昇給、昇格の記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は、署名又は記名押印

※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんを申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	金融業 ※業種
あっせん事項		在職中に本来受けられるはずであった未払賃金相当額の金銭の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	単に出身母体により昇給、昇格に差を付け、不当に賃金を低く抑えた銀行の行為は許し難い。		
	使用者	昇給、昇格は人事業績評価によるものであり、差別的な取扱いはしていない。在職中の人事ヒアリングの際にも、今回のような主張もなく、本人も了解していた。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 入社、銀行マンとして勤務した。 会社は、〇年〇月〇日に近隣の金融機関が合併して現在の姿となった。 その際に出身母体による賃金差別があり、その後も昇給、昇格面で個人的な差別が続いた結果、退職時まで約〇万円の賃金を受け取ることができなかった。 〇年〇月〇日 支店長職を最後に定年退職となった。 同年〇月〇日 本社の人事課長に連絡を取り、在行中の賃金差別と昇給、昇格面で個人的な差別により不当に低く抑えられたことで生じた未払賃金相当額の金銭の支払を求めたが、聞き入れられなかった。		
参考事項		同年〇月〇日、山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		